

行雲流水

No.264 令和4年11月7日発行

備えあれば、憂いなし

校長 寒河江 正人

黄金色に輝いていた校庭のカツラの木の葉が舞い、すでに落ち葉となりました。

先週の金曜日、北海道の旭川市では、**降雪の予報**が出されたとのこと。
本県では、土曜日、蔵王連峰の熊野岳と朝日連峰の大朝日岳に**初冠雪**。

秋深まり、いよいよ**冬を迎える季節の変わり目**ですね。

さて、生徒諸君。

冬への備えは、進んでいますか？

先週の月曜日、10月31日に「**冬期間の防寒着・通学用靴について**」で通知したとおり、
登下校時に着用する防寒着と通学用靴は、**冬に向かう大切な備え**です。

ポイントは、**防寒性と防水・撥水性の高いものを着用する**ということです。

通学用の防寒着は、日々変わりやすい天候や気温、冷たい雨・雪・吹雪などの気象状況に対応できる「**濡れない・保温効果が高い**」ことが求められます。

通学用靴については、水分を多く含んで濡れやすい状況では**防水性**が一番に求められるし、
その一方、凍結した滑りやすい路面状況で転倒の危険を想定した場合、**防滑性**も重要です。

すべては、**体調の保持、転倒による怪我の防止、「健康と安全」を最優先にした備え**です。

さあ、**これからの足かけ5ヶ月間**。

この冬は、どのくらい雪が降るのでしょうかね。

「備えあれば、憂いなし。」

怪我や病気なく、これからやってくる冬を「**健康・元氣・笑顔**」に過ごしましょう。

「健康・元氣・笑顔」は、充実した生活の基盤です。